

プレスファイル 2019

クリエイティブ、地中海が香る街のアート
地中海のモンペリエ

PRESSE.MONTPELLIER-TOURISME.FR



プレス連絡先

ヴァレリー・パデュア (VALERIE PADUANO)

+33 (0)4 67 60 19 34

+33 (0)6 89 95 59 58

valerie.paduano@ot-montpellier.fr

地中海のモンペリエ

ロケーションとアクセス

4

鍵となる数字

5

地中海のモンペリエ2019、街のアート!

7

概要

2019年のモンペリエに関する9の事実

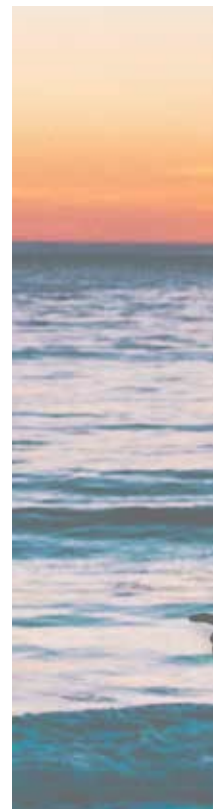
8

2019年、見逃せないタイミング

14

地中海のモンペリエ、それは…

20



クリエイティブ、エネルギー、 エキサイティング

地中海のモンペリエの中心へようこそ！
都会に自然、大胆に触れ合っても、純粹に楽しい時間を共有しても。地中海を肌で感じられる環境、その地に眠る宝石の数々に驚くことでしょう。

コメディ広場、医学で名を馳せるモンペリエ大学、特別な趣のあるホテル、コンテンポラリーな文化遺産、ファールブル美術館、カストリー城、更にはマゲローヌの大聖堂…

これだけでも、皆様を魅了するには十分すぎるほど。しかし、地中海のモンペリエにはそれ以上のものがあるのです！一息つける海辺のサイクリング、地平線を描くワイン農園、美しさが独特なラングドックの村、素晴らしいカルチャーやスポーツのイベント。皆さんと共有する、という伝統ももちろん、忘れることなく心に秘めています。



密度の濃い、素晴らしい体験
をお楽しみください！

ロケーション とアクセス



モンペリエまでは、パリ(所要時間1時間10分)、ロンドン(1時間45分)、フランクフルト、アムステルダム、ブリュッセル、マドリード(1時間30分)より直行便が運航されています。またモンペリエから1時間30分の距離にあるマルセイユ空港には、主要国際線が数多く就航しています。モンペリエ・メディテラネ空港までは、街の中心部より8kmほど。シャトルサービスもご利用いただけます。詳しい情報は、こちらをご覧ください:

www.montpellier.aeroport.fr

- 4 中心部に位置するTGV モンペリエ・サンロッシュ駅まで、パリ・リヨン駅またはシャルル・ド・ゴール空港駅(所要時間3時間15分)、リール駅(4時間45分)、バルセロナまたはブリュッセル(5時間40分)より直通電車がごぞいます。

詳しい情報は、こちらをご覧ください: www.raileurope-japan.com

モンペリエ・南フランス駅は街の中心部より20分ほどの場所にあり、空港より14分、高速道路の29番出口より8分です。



電車で
電車で

お車で
お車で



マルセイユより2時間
トゥールーズより2時間30分
リヨンより3時間
バルセロナより3時間30分
ニースより3時間15分

鍵となる数字



5

コミューンの数
31

282,143人が
モンペリエ
市内に在住

地中海のモンペリエ都市圏の人口
457,839人

都市圏を訪れる観光客
毎年510万人

ホテルの客室数
1,552,245室

フランス国内における人口増加率 第1位

フランス語を学ぶ外国人生徒の数 国内第2位

モンペリエ 人口 フランス第9位

開催される会議数 フランス国内第9位 (2017年ICCAによる)



地中海のモンペリエ

街のアート



モンペリエは、その誕生から今日まで絶えず美意識を磨いてきた街です。70近くにも及ぶ豪華絢爛なホテルに凱旋門、ルイ14世を称えるペイラー公園、中世のプロムナードは散策にぴったりで、モンペリエ大学医学部は1,000年を超える歴史を誇る…モンペリエは歴史遺産を愛する方の気持ちを熱く満たすことを、おわかりいただけることでしょう！過去・現在・未来と街並みが一体化した街なのです！街の四隅にある噴水の1つは「三美神の噴水」としても知られており、街の中心部の「レキュソン」(フランス語で「盾」の意)は、歩行者天国になっており、フランスのデザイナー、クリスチャン・ラクロワが手掛けたカラフルな車体がトラムL3・L4を彩ります。モンペリエの才能を物語る証拠となる、銅像にストリート・アート、そして圧巻の現代建築もお忘れなく…そう、ここはありとあらゆる場所にアートが散らばっている街。そしてアートも同じように、皆様に熱い視線を注いでいますよ！

カルチャーの街・地中海のモンペリエは、全ての方がその好みや予算に関わらず、カルチャーをお楽しみいただけるよう取り組んでいます(そして、お楽しみいただけることに違いありません!)。合言葉は「大胆に!」、いつだって「素晴らしく!」。900点もの名作を収めたファーブル美術館はもちろん、パビリオン・ポピュレールでは偉大な写真家のオリジナル作品を展示しています。フランスで第8の芸術・写真に特化した空間は他にパリ・ヨーロッパ写真美術館のみ、とても貴重なことがおわかりいただけるはずです。2019年6月には、モンカームホテルのオープンに合わせて「MoCo」コンテンポラリーアートセンターも登場し、コンテンポラリーアートを語るに欠かせない場所になることは間違いありません。

美しく、そして何より活気でいっぱい!モンペリエはいつだって情熱的に出会い、共有することに事欠きません。にぎやかなリズムを感じに、世界のあらゆる場所からたくさんの方が訪れます: FISE(スポーツ・エクストリーム国際フェスティバル)、モンペリエ国際ダンスフェスティバル、モンペリエ国際建築フェスティバル、アート・パフォーマンス、街の中心部を彩るイルミネーション…熱いファンによる熱いファンのためのイベントは、常に充実した内容の中にうっとりするような美しさが溶け合います。

色濃く感じられる地中海の香り。モンペリエは、自身のそんなイメージをスクリーンに楽しく投影します。地理的にも理想的なロケーション—海辺まで10kmにもかかわらず、見渡す限りワイン農園と自然に囲まれて、ヴィルヌーヴ・レ・マグローヌではまるで大自然が優しく包んでくれるよう。広大な地中海、ワイン農園、ローマ帝国時代が残した圧巻の大聖堂までもが風景画を描きます。カマルグの特産品を育む湿原は、自然、そして「スローツーリズム」を愛する方には申し分ない庭となることでしょう。さあ、自転車に乗って、夕暮れの空に舞うフラミンゴを見に行きましょう。

手の届く豊かさを感じながら、温かく贅沢な気持ちにしてくれる、誰にとっても特別で素晴らしい場所。2019年の地中海のモンペリエは、これまで以上に美意識を、そして引き続きあらゆる感覚を磨きます!

2019年のモンペリエに関する9の事実



8



MOCO モンペリエ・コンテンポランにフォーカス

2019年6月29日：コンテンポラリー・アートの新スポット、ホテル・モンカーム(3,500㎡、サン・ロッシュ駅近く)がオープン。これに伴い、国立高等美術学校とラ・パナサー(カルチャーセンター)は地中海のモンペリエ都市圏コンテンポラリー・アートセンター、MOCO内に移転いたします。

誰からも愛され、イノベティブさは揺るぎません。MOCO モンペリエ・コンテンポランは、モンペリエにこれまで自然と根付いてきた文化、その魅力を更にパワーアップさせてくれるオープンな空間です。地中海のスポットとして、パワフルなコンテンポラリー・アート、そして素晴らしいカルチャーを体験していただけます。代表を務めるのは、スタイリストまた社長として活躍するヴァネッサ・ブリューノ。芸術評論家であり、パレ・ド・トーキョー共同創設者、またパリ国立高等美術専門学校のディレクターを務めたニコラ・ブリオーがディレクターに就任します。



9



お見逃しなく:



6月8日～7月28日まで「街のアーティスト100人ーZAT-2019展」を開催。アーティストの作品100点が、オーナメントのように並びます。わずかな期間しかご覧いただけない展覧会は、入場無料。近隣のセット市、またセット市に居を構えるアーティストとのコラボレーションも予定されています。

クリエイティブな新 スポット、トロピズ ム・マーケット

シテ・クレアティブも含め、次世代でも飛躍し続けるカルチャー/クリエイション企業のための、4,000㎡を誇る新ホール。1913年に完成しその昔は軍事機器のワークショップも行われていた建物が、カルチャーと起業家のためのスペースへと生まれ変わります。2019年1月18日より毎日営業、イベントはもちろん明るいひとときをお過ごしいただけるカフェ・トロピズムがお待ちしております。カルチャーの担い手とカルチャー/クリエイション企業を結び付けるのが、エコシステム。2019年1月から、住民が密につながり共有できる、クリエイティブでインスピレーションいっぱいのスポットで仕事に励み、スタートに着手し、人生を歩むことが可能になります。



10

ジャルダン・デ・サン スが、再オープン

2019年6月: プルセル兄弟の《ジャルダン・デ・サンス》が復活。2019年夏、かつてモンペリエ市庁舎が存在したカヌルグ広場で再びその扉が開きます。ホテル・リシェ・デ・ベルヴァルは、17世紀に建てられた歴史ある建造物。世界が認めるルレ・エ・シャトーのメンバーホテルには18の客室、舌を唸らせるレストラン、ビストロ、シャンパン・バー、過去には結婚式会場として使われていたレセプション、テラスも設けられています。



ラルブル・ブラン 建築と美食

マリアヌヌ港のモダンなエリアの中心に、新しい「植物」が根を下ろします： 建築家の藤本壮介、ニコラ・レズネ、マナル・ラシュディが設計を手掛けた、ラルブル・ブラン。建築と美食を愛する方にとってご褒美のような空間は、2019年中旬に開業します。1～2階には、ミシュラン星付きレストラン「ラ・レゼルブ・ランボー」シェフ、シャルル・フォンテと「ラ・メゾン・デ・ラ・ロゼール」シェフ、エリック・セリエがプロデュースするブラッセリーも新登場。17階のパノラマテラスには、タパスバーもオープン予定です！



レ・マーケット

2016年、レ川の畔に誕生したクリエイティブなホットスポットが、更に進化を遂げます！
2018年の夏のフードトラックスペースに続き、2019年春にはグルメのためのマーケットがオープン。モンペリエ随一の「トレンディ」な新エリアとなりそうです。





ホテル・プラージュ・パレ

カマルグへの玄関口・パラバスとカルノンの間、そしてモンペリエ・メディテラネ空港やTGV新駅から5分。ホテル・プラージュ・パレは、コステス兄弟がブッタゾーニ・エージェンシー、イマード・ラームーニ、そしてフランソワ＝ジョゼフ・グラフと共同で着手したプロジェクトで、2018年7月に開業しました。スイートルームも含め、70の客室とレストラン、27mの温水プール、スパにもプールを完備。そして目の前にはホテルのプライベートビーチが設けられています。第2期工事着工済み、2019年1月に全面オープンの見込みです。

なるほど一知っておくと便利な情報



5★

モンペリエ中心部から5km、ワイン農園の中心に構えるル・ドメン・デ・ヴェルシャンと合わせ、2019年のジャルダン・デ・サンズとホテル・プラージュ・パレのオープンにより、モンペリエの5つ星ホテルは3軒となります。

12

レサック： 街の中心部に新ホールがオープン

2018年12月1日、モンペリエのちょうど中心に、レサック・マーケットが新しくオープンしました。リニューアル中のジャン・ムーラン大通り、建設が始まったフォーブル・デュ・クロー通り、そしてフォーブル・デ・ラ・ソーヌリー通りとジュ・デ・ポーム大通りを結び、ショッピングサークルの核となります。歩行者専用広場や近隣エリアへのアクセスもつながります。

天窓の下、そして全体を取り囲むように設置した美意識高いアートワークー建物を設計するインスピレーションとなったメロンに傾く地中海の熱を思わせながら、24の区画に区切られたマーケットに降り注ぎます。



モンペリエ 地中海 芸術の街

13



2019年、見逃せないタイミング



14

カルチャー

偉大なロックグループ・POLICEのギタリスト「アンディ・サマーズ」展 (2月6日～4月14日、パビリオン・ポピュレールにて)。フランス初の展覧会、会期後はマーストリヒト(オランダ)で移動開催となります。パビリオン・ポピュレールが、ミュージシャンそして写真家としても活躍する彼のオリジナル回顧展を行います(入場無料)。

「ZAT 2019—街の100人のアーティスト」イベント展: 2019年6月～7月、カルチャーを公共スペースで大々的に見せる、入場無料のイベントです。カフェやブティックにも、アートの波が押し寄せます。100人のアーティストが、このイベントのために全力を傾けます。

FIFA 女子サッカーワールドカップ、第8 回大会の開催地はフランス!

予選を勝ち抜いた23チームと開催国フランス、合計24
チームが集います。2019年6月7日(金)～7月7日(日)
まで開催。

モンペリエのスタッド・ドゥ・ラ・モッソンでは、決勝トーナ
メント第1戦を含む全5試合が行われます。

モンペリエでの開催試合:

グループステージ

- 6月10日(月) 21:00～ カナダ vs カメルーン
- 6月13日(木) 18:00～ オーストラリア vs ブラジル
- 6月17日(月) 18:00～ 南アフリカ vs ドイツ
- 6月20日(木) 18:00～ カメルーン vs ニュージーラン
ド

モンペリエで開催される決勝トーナメント第1戦:

- 6月25日(火) 18:00～ グループC第1位 vs グループ
A・B・Fの第3位



スポーツの街



ブートグラフィー (BOUTOGRAPHIE)
BOUTOGRAPHIES.COM

5月4～26日に行われる、ヨーロッパの写真フェスティバルも今回で第19回目。ブートグラフィーでは、写真家が触れ合う時間を演出すると共に、彼らの作品を展示。フランス、そしてヨーロッパの写真家の写真に対する思いを、モンペリエの人々と共有する絶好の機会です。



モンペリエ国際建築フェスティバル (FAV)
FESTIVALDESARCHITECTURESVIVES.COM

2006年から開催、どんな方にもモンペリエを代表するモニュメントを堪能できる建築イベント。街中に散らばる豊かな文化遺産より厳選し、皆様をご招待。モンペリエでは歴史地区の中心部で開催し、多くの個人邸宅やその中庭、普段はご覧になれない場所をルートで巡ります。2019年6月予定。



モンペリエ国際ダンスフェスティバル
MONTPELLIERDANSE.COM

7月に開催される、モンペリエ国際ダンスフェスティバル。世界のあらゆるダンスとカルチャーが一堂に会する真のイベントです。モンペリエ国際ダンスフェスティバルは毎年、忘れられないクリエイションを創り出す、国際的にも著名な振付師の方々をお迎えしています。

15日間に渡り、ダンスの国際サイト・アゴラ、オペラ・ベルリオツツ、オペラ・コメディをはじめ、モンペリエ都市圏のスポットやメディアテックも大々的にアーティストや参加者をバックアップします！

モンペリエ国際ダンスフェスティバルでは、都市圏を構成するコミュニティで無料でご覧いただけるシアターダンス、特にストリートダンスも展開します。



ル・フェスティバル・ラジオ・フランス
LEFESTIVAL.EU

ラジオ・フランス オクシタニー・モンペリエのフェスティバルは、オリジナリティあふれる様々なプログラムで成功を収めてきました。しばらく眠っていた作品、新しく作り上げられた作品、若いアーティストを積極的にアピールし、名曲の素晴らしさを総合的に伝える意欲に満ちています。34回目の開催となる2019年は地中海のモンペリエ都市圏が丸となり、公共スポットで入場無料のコンサートが催されます。2019年7月開催予定。



(FISE)

スポーツ・エクストリーム国際フェスティバル

FISE.FR

(2019年5月29日～6月2日)

毎年、キリスト昇天祭の週末に開催される「エクストリーム」とも呼ばれるアーバンスポーツ(インラインスケート、BMX、スケートボード、マウンテンバイク、ウェイクボード、キックボード)の祭典。アスリートがアマチュア、プロを問わず参加します。



インターナショナル
(BATTLE OF THE YEAR)

BOTYFRANCE.COM

インターナショナル、バトル・オブ・ザ・イヤーは2019年11月に行われます。ブレイクダンスに特化、ヒップホップカルチャーに捧ぐイベントです。大会の熱気が最高潮に達するファイナルでは、優勝候補2組がタイトルをめぐる舞台上で対決を繰り広げます。

大胆な街

17

その他にも…

南フランスオープン大 (L'OPEN SUD DE FRANCE)

2月3～10日

毎年モンペリエで開催される、テニスの南フランスオープン大会。黄色いボールの愛好家が美しいゲームを繰り広げます。アリーナ・スュッド・デ・フランスにて。

モンペリエ・マラソン

3月24日

スポーツマンシップがみなぎり、モンペリエとその都市圏を再発見できる41.195kmのコース。まずはモンペリエ中心部をループ状に、その後カステルノー・ル・レ、ラット、ペロール、カルノン、パラヴァス・レ・フロットといった隣接地域を回り、海に向かって駆け抜けます!!!



コメディ・デュ・リーヴル・デ・モンペリエ (COMEDIE DU LIVRE)

5月17～19日

1986年、家の書齋を飛び出して、街でも本を楽しもうというアイデアがきっかけとなり、当時のモンペリエ市長ジョルジュ・フレッシュの呼びかけにより初開催されました。2017年1月からは地中海のモンペリエ都市圏が企画を担当。コメディ・デュ・リーヴルは海外文学にも幅を広げ、現代文学や若い文芸家の作品を毎年サポートしています。若い世代にコミック、そして文学はジャンルを問わず、充実したプログラムが集まる重要なイベントです!

18



ル・フェスティカイト (FESTIKITE)

6月7～10日

カイトサーフィンを愛する方には見逃せないイベント。毎年、ヴィルヌーヴ・レ・マゲローヌのプレヴォスト・ビーチで開催します。

フェスティバル・アラベスク (FESTIVAL ARABESQUES)

2019年9月

音楽、舞台、朗読、プロジェクト、ダンスにカリグラフィ…アートを通してアラブ文化を感じられる、他にはないチャンスです!

月 モンペリエ国際ギターフェスティバル (LES INTERNATIONALES DE LA GUITARE)

2019年9～10月

モンペリエとその都市圏でコンサートや音楽イベントを開催。ギターが主役の音楽フェスティバルです。

お祭り



WHAT A TRIP !

2019年9月27～29 日

モンペリエで行われる、旅と冒険をテーマとした映画の国際フェスティバルも第3回目となります。プロジェクトンミーティング、展覧会、無料コンサート、カンファレンスにワークショップといったラインナップ、「スロートーリズム」の旅を体験していただける空間となります。

シネメッド (CINEMED)

2019年1月

映画のプロをゲストとしてお招きし、数々の作品を上映。毎年行われる、地中海映画の名作に捧ぐイベントです。若い世代がその才能を見せてくれる「高校生の映画フェスティバル」も同時開催。地域を舞台に撮影され、地域より公式認定を受けた作品のプロモーションも行われます。

動きのある街！

19

生活の中のアート

7～8月

の毎週金曜日は「エスティヴァル」。モンペリエの街では18:30～23:30の間エスプラナード・シャルル・ド・ゴールでイベントが行われます！テイスティング、アーティスト、ミーティングイベントにワイン…楽しい空間を通してモンペリエという場所を肌で感じていただけます！



冬は、街の中心部が光をまといます

12月第1週の州末

ホリデーシーズンには欠かせないイベント「クール・デ・ヴィル・アン・ルミエール」では、街を代表するスポットを舞台に、神秘的な夜のショーが繰り広げられます。

地中海のモンペリエ

それは…

20



地中海のモンペリエ



文化遺産と現代建築の街

ヨーロッパ最大の歩行者天国・モンペリエを歩く。それだけで立派なアートです！中世に整備された道、オスマン様式の建物、新古典主義様式の建築、限りなくコンテンポラリーなエリア、トラムのデザインも見逃せません。空を仰ぐ、オープンな建築博物館をのびのびと自由に歩けるなんて、とても素敵でしょう？

21



いつだって何かが見つかる、様々な顔を持つ目的地

カラーとムードが絶妙にミックスした、地中海のモンペリエ。セヴェンヌでのハイキング、カマルグの伝統と風景を感じながら、ピック・サン・ループが目を楽ませます。島を思わせる街・セット、絵画のようなベゼナス、神聖さが宿るサン・ギレーム・ル・デセール、見渡す限り続く地中海と砂浜を自転車で探検して…そう、全てが手に届く場所にあるのです！

カルチャーとクリエイションのラボ

定評あるフェスティバルに全国的にも名高いチーム、新しい才能が集いあらゆる形でストリートアートを作り上げていく—モンペリエは言うまでもなくカルチャーの宿る場所。

お忘れなく：ファブル美術館、MOCO(2019年6月オープン予定)、パビリオン・ポピュレール、アンリ・ブラデス博物館のラタラの遺跡、展覧会はもちろん、主要フェスティバルも見逃せません。

爽やかなアートの風で、きっと満ち足りた気分を味わっていただけることでしょう！

芸術都市



22

遊びの心が眠る場所、地中海

水平線を描く地中海—海岸線は、モンペリエでのライフスタイルの一部に溶け込んでいます。家族ではにぎやかに、スポーツでアクティブに、そして大切に保護されてきた自然と戯れて。海辺でもバラエティ豊かに、あらゆるご希望を叶えます！

海とワイン農園に挟まれたロマネスク様式の宝石、魅力的なマゲローヌ大聖堂は必須。他にも4月～9月にはプライベートビーチがオープン、砂浜でドリンクを傾けながら過ごす夜も外せません。パドルやカイトサーフィンのレッスンも多くビーチで行われていますので、冒険を思い切り楽しんでいただけることは言うまでもありません！



地中海のモンペリエ



情熱が宿る土地!

必須イベント・FISEをはじめ、夜のアーバン・トレイルなど、スポーツ・エクストレームのために毎年約50万人が訪れます。カイトサーフィンやセーリングといったウォータースポーツも熱く、一方で職人やサラブレッド、ワイン醸造家、更に研究者やアーティストまでもが集う街は、いきいきと、そして何よりも躍動感でいっぱい! 情熱的な男性と女性が出会う街、地中海のモンペリエを体感してみてください。大地の魂を感じて! #montpelliernowでタイムリーにシェア!

23

芸術はいたるところにあります。



目と舌に喜びを

ヴェルシャン、シャトー、レ・フォリー・モンペリエランといった素晴らしい産地で、ワイン農園に飛び出してローカルワインをダイレクトにテイスティング。トーの牡蠣、生産者が直接お届けするオリーブやこの土地ならではのグルメ…地中海のモンペリエは、舌でも発見の連続です!

観光案内所

Place de la Comedie

30, allée Jean de Lattre de Tassigny

34000 モンペリエ (Montpellier)

T. +33 (0)4 67 60 60 60

contact@ot-montpellier.fr

付近で

(LATTES) : +33 (0)7 72 43 65 08

(CASTRIES) : +33 (0)4 67 52 04 24

(VILLENEUVE-LES-MAGUELONE) : +33 (0)7 87 25 67 45

プレスファイル 2019

全ての情報が、こちらからご覧いただけます
MONTPELLIER-FRANCE.JP

